

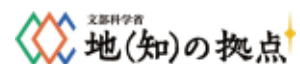
ALL 富山COC+事業協働機関



	【高等教育機関】	富山大学 (COC+ 採択校)・富山県立大学 (COC 採択校)・富山国際大学 (COC 採択校) 富山短期大学 (参加校)・富山福祉短期大学 (参加校)・富山高等専門学校 (参加校)・高岡法科大学 (協力校)
	【地方公共団体】	富山県・富山市・高岡市・魚津市・氷見市・滑川市・黒部市・砺波市・小矢部市・南砺市 射水市・舟橋村・上市町・立山町・入善町・朝日町
	【企業等】	富山県商工会議所連合会・富山県機電工業会・YKK・インテック・北陸銀行・富山銀行・富山第一銀行
	【地域メディア】	北日本新聞社・富山新聞社・読売新聞・富山テレビ放送

COC+事業

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。



富山大学 地域連携推進機構 地域連携戦略室

〒930-8555 富山市五福3190 学生支援・地域連携交流プラザ2F
TEL 076-445-6177・076-445-6519 FAX 076-445-6033 t-senryaku@adm.u-toyama.ac.jp



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

とやま
で
育
て
よ
う。

平成28年度
事業報告書

| ALL 富山 COC+ |

富山全域の連携が生み出す地方創生
—未来の地域リーダー育成—

COC+

Center of Community Plus

<http://www3.u-toyama.ac.jp/chiiki/cocplus/>



富山の未来を、地域と一緒に 育てていく。

学長MESSAGE



富山大学
学長 遠藤 俊郎

平成27年にスタートした「ALL富山COC+事業」は、県内全ての高等教育機関の連携の下、富山県はじめ県内全ての市町村、主要な企業、金融機関、地域メディアと協働して、富山の地方創生に向けて着実に前進しています。

教育改革を進め、地域と連携した新しい取組を展開していく中で、「信頼の循環」が次第に醸成され、県内高等教育機関が、富山という地域と一体となって地方創生を推進する拠点となってきました。

「ALL富山COC+事業」では、若者(卒業生)の地元定着を促進するために、大きく「入口戦略」、「教育戦略」、「出口戦略」の3つの戦略を展開しています。入口戦略では、地元定着率の高い県内高校生の県内進学を促し、教育戦略では、より質の高い地域科目を提供することで、富山と関わりを持ち富山の良さを知る機会を学生に提供します。出口戦略では、学生と県内企業等がそれぞれの魅力を伝えあえるよう、学生と企業等との出会いの場を数多く提供します。

若い力を富山が育て、若い力が富山を育てる。この「信頼の循環」が、ALL富山COC+の次の目標です。



富山県立大学
学長 石塚 勝

平成25年度に、富山県立大学は、「『工学心』で地域とつながる『地域協働型大学』の構築」により、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に選定されました。

このCOC事業において、地域に役立つ技術者マインド「工学心」を持ち、地域課題に取り組む学生の育成を図るため、社会参画力、課題解決力、コミュニケーション力を高める「地域協働授業」を1年から3年次までのゼミを柱とした地域協働科目において、実施してきました。COCOSをはじめとする学生の団体、サークルによる地域課題を解決しようとする学生自主プロジェクトも進展してきました。

平成27年度には、「地(知)の拠点大学」による地方創生推進事業(COC+)の参加校になり、優秀な人材の育成と地元定着のため、更なる教育改革に取り組んでいます。既存のインターンシップに加え、「とやま人材育成を考える会」を立ち上げ、学生の力を伸ばし、企業に愛着を持ってもらうための課題解決型インターンシップを行いました。キャリア教育における地元の企業を知る業界研究グループワーク、業界団体による寄付講座なども実施しています。

地域を愛し、地域貢献しようとする優れた課題解決力をもった多くの学生を送り出すことを目指します。



富山国際大学
学長 中島 恭一

本学は、「大学生の就業力支援事業及び支援推進プログラム」(平成22～23年)、「産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業」(平成24～26年)に連続して選定され、その延長上で、平成27年度「地(知)の拠点大学」における地方創生事業(COC+)の「ALL富山COC+事業」に参加校として加わりました。

同時に、「とやま地域創生人材育成プログラム」によって、特に優れた取組として認められた大学等8校の一つとして、平成27年度「地(知)の拠点大学」(COC)の認定を受けました。

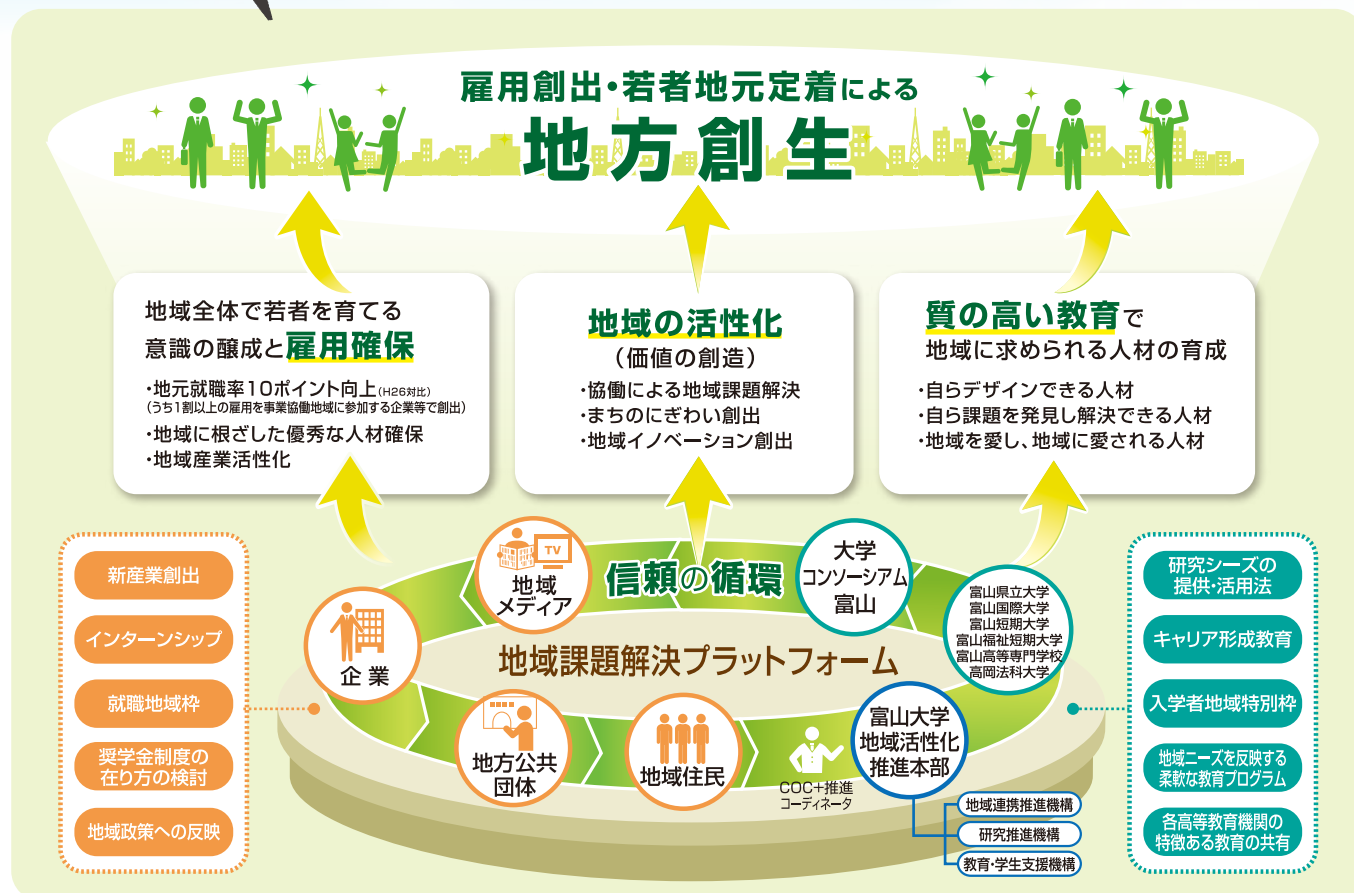
COC/COC+に共通するカリキュラム改革は、4段階の地域探求プロセスによって、富山県下各地域にある課題を解決することのできるリーダー養成をめざします。

COC+事業の柱の一つでもある学生の地元定着については、魅力に満ちているにもかかわらず、これまであまり詳しく知られることのなかった企業の発掘を通じて、新たな就職先の開拓をめざします。

今回の事業は、富山国際大学がこれまで進めてきた地域に根ざした教育・研究、社会貢献の集大成とも言えるプロジェクトです。「とやまに学び、とやまで育ち、とやまを活かす」をモットーに、本学の存在理由を高め、より高い使命に応えていく所存です。関係諸機関のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

「ALL 富山COC+」とは？

富山の高等教育機関と地方公共団体や企業等が連携して「オール富山」で富山の地方創生に貢献する事業です。



富山県全体を事業協働地域として、県内全ての地方公共団体や主要な企業、金融機関、地域メディア等と協働し、地元就職率10ポイント向上を数値目標に掲げ、地方創生に結びつく「未来の地域リーダー」を育成することを通じて、地(知)の拠点として地域に貢献します。

①質の高い教育による地域に求められる人材「未来の地域リーダー」の育成、②産学官が連携した地域イノベーションによる雇用創出、③地元就職率の向上による「地域の活性化(価値の創造)」を通じて、地域課題を解決するとともに、地方創生を図っていきます。

どんな取組をしているの？

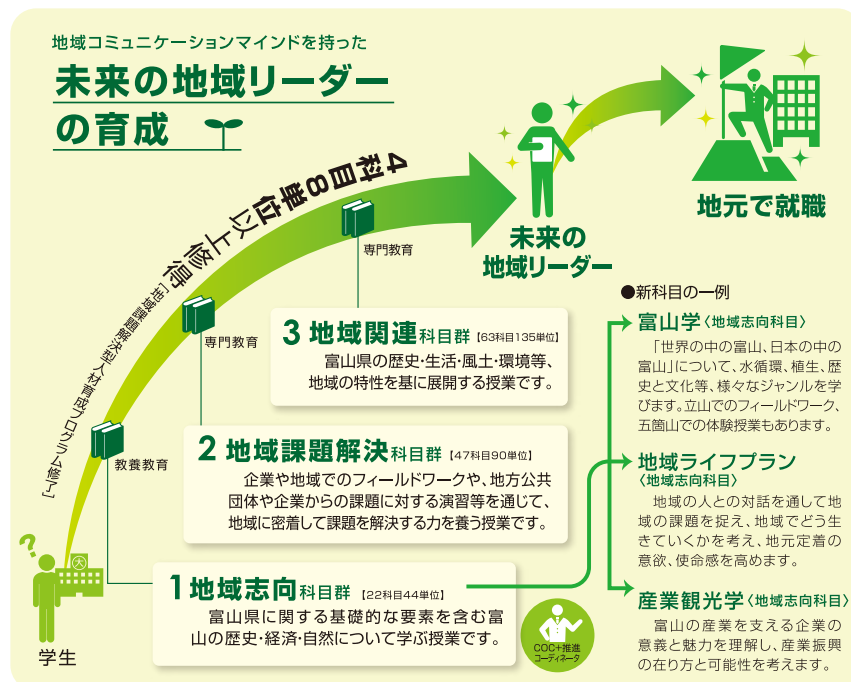


教育戦略

育てます。未来のとやまをつくるひと。

1 富山大学の取組

1 未来の地域リーダーの育成



富山大学では、地域に求められる人材を輩出するために、「地域課題解決型人材育成プログラム」を平成27年度に制定しました。このプログラムにより、3つの地域科目群から4科目8単位以上履修(単位修得)した学生には「地域課題解決型人材育成プログラム修了証」を授与し、地元富山への意識が高く創造的な問題解決能力を持った人材として、「未来の地域リーダー」の称号を付与します。

地域科目群は、地域志向科目群、地域課題解決科目群、地域関連科目群で構成しています。教養教育において、「地域志向科目」を学ぶことで地元への意識・愛情・愛着を醸成しています。更に専門教育において、「地域課題解決科目」、「地域関連科目」を学び、自ら課題を解決することで、地元への意識を高め、創造的な問題解決能力を持つ人材を育成しています。

2 地域志向科目、地域課題解決科目、地域関連科目の新規開講



「富山学」 立山弥陀ヶ原視察風景



「地域ライフプラン」 講義風景



「産業観光学」 (株)能作視察風景

「未来の地域リーダーの育成」を実質化するために、富山大学では、地域に関する科目の充実を図っています。その一環として、教養教育における地域志向科目として平成28年度後学期から、「富山学」「地域ライフプラン」「産業観光学」の3授業科目を新たに開講しています。

富山学は、富山の自然的、文化社会的基盤について理解を深め、地域の課題解決や活性化に向けて、履修者自らが考え、行動する意識を目的としています。今年度は、立山と庄川流域への2回のフィールドワークも行いました。

地域ライフプランは、富山県及び県内全ての市町村から講師を招き、各地方公共団体の地方創生、若者の地域定着の取組などを紹介し、富山への意識・愛情・愛着や、地域コミュニティマインドを醸成することを目的としています。

産業観光学は、産業観光や富山の産業構造を理解し、富山の産業界が既存産業の再生や新産業創生により発展してきた地域イノベーションを知り、更に県内企業が求める資質を涵養することを目的としています。

その他、「未来の地域リーダー」を育成するため、地域に関する各授業科目では、フィールドワークの充実やゲストスピーカーの招へいなどにより、地域とのつながりを強化しています。

2 富山県立大学の取組

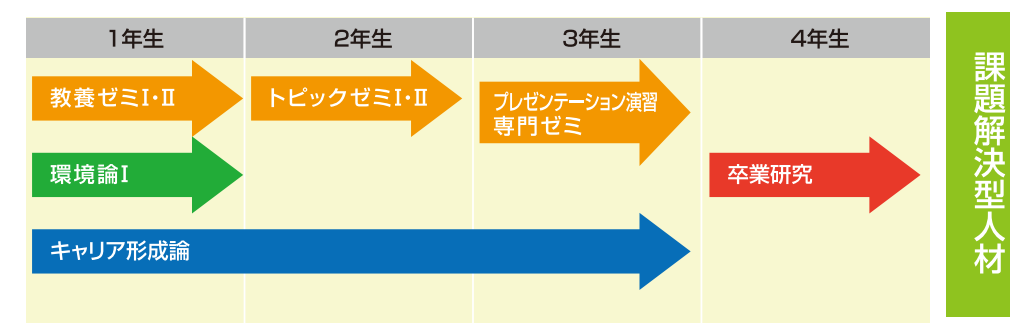
1 地域を志向したカリキュラム「地域協働授業」

富山県立大学では、地域の課題に対して広く教育・研究・社会貢献の観点から全学を挙げて取り組むこととし、地域に役立つ技術者マインド「工学心」を持ち、地域課題を解決できる学生の育成を図るなど、「地域協働型大学」の構築を目指しています。

各年次のカリキュラムに「地域協働科目」を設定し、全ての学年が在学中に複数回、地域との交流・対話・協働により地域の課題解決を目指す「地域協働授業」を経験できる体制を整え、その成果を半期毎に開催される「地域協働授業成果発表会」にて発表しています。

少人数ゼミの授業の中で、学生が多様な地域関係者と直接対話や交流などを行い、地域が抱える課題の解決に向けて、地域関係者と一緒に考え、また、学生自らがその課題を捉え、解決のためにどう取り組めばよいかを学修することを通じて、主体的に課題解決することができる能力をもった人材の育成を目指しています。

地域協働科目(卒業必修)



3 富山国際大学の取組

1 とやま地域創生人材育成プログラム

とやま地域創生人材育成プログラムは、

- 1) 4段階の地域探求プロセスによる課題解決型人材の育成
- 2) 学生の自主的活動を通じた課題解決力の向上
- 3) 国内外のインターンシップを有効な体験として活かす
- 4) 地元学学習を通じて、富山への理解・愛着を深める
- 5) 情報技術学習・社会人基礎力学習を通じて、ビジネスパーソンとして必要な基礎的スキルをレベルアップする

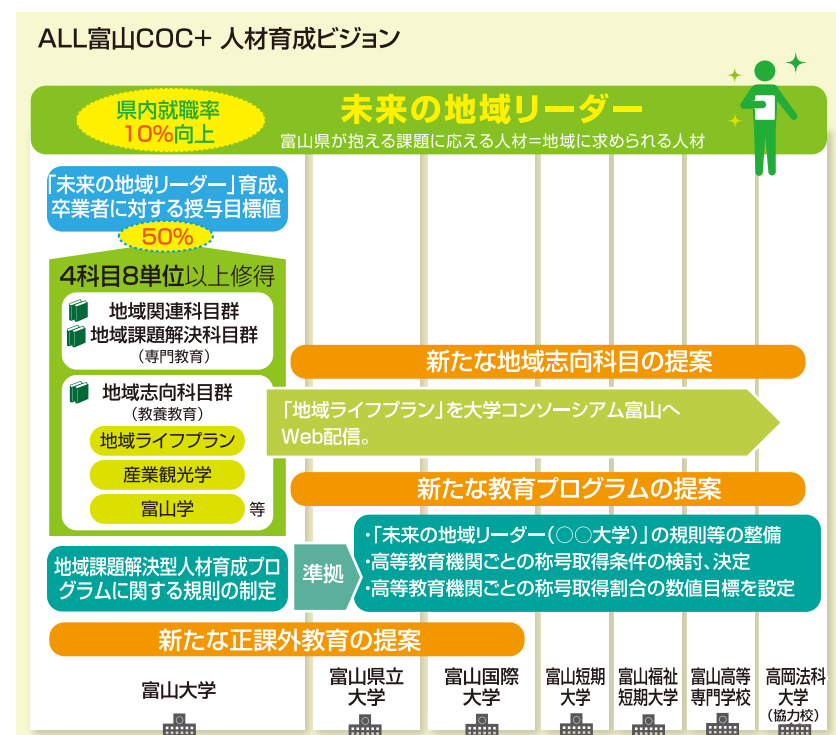
を目指すものです。



教育戦略 育てます。未来のとやまをつくるひと。

4 県内高等教育機関が連携して実施した取組

1 ALL富山COC+人材育成ビジョンの全県展開



「富山全域の連携が生み出す地方創生—未来の地域リーダー育成—」と題したALL富山COC+事業は、そのサブタイトルにもあるように、地域に定着し活躍する卒業生を「未来の地域リーダー」と称しています。

広く地域企業等における認知度を向上させるため、ALL富山COC+では、県内全ての高等教育機関で「未来の地域リーダー」を育成すべく、それぞれの教育機関の実態に合わせて、地域課題解決能力を備えた「未来の地域リーダー」を輩出する制度の制定に取り組んでいます。

富山短期大学の取組

- 「大学教育再生加速プログラム（AP）」において、「学修成果の可視化」による教育の「質保証」に努め、広く地域・社会の信頼を高める取組を推進
- 食物栄養学科・幼児教育学科・福祉学科においては地域の施設・事業所等での実習、経営情報学科においては県内企業でのインターンシップを通じて、「地域を活かし、地域を創り、地域に生きる」地域基盤人材を育成

富山福祉短期大学の取組

- 社会福祉、介護、看護、保育、幼児教育の各分野において、実習指導を中心に地域の施設・病院等の現場との連携の下に職業教育・人材育成を実施
- 地元自治体や社会副法人等との連携の下に、地域の課題について学修する教育プログラムを必修科目として全学的に配置した、地域に貢献できる人材育成の取組を実施

富山高等専門学校の取組

- 富山県機電工業会と連携し、専攻科生を対象に、「地域産業学」の授業を開講
- 地元企業と連携したPBL授業や、ロボコン、小水力発電コンテスト、とやま科学オリンピック等への参加を積極的に取り入れ、地場産業や地域貢献に対する理解を深めさせる取組を実施
- 富山県インターンシップ協議会と連携し、県内企業へのインターンシップへの積極的な参加を促進
- 本科3年生の校外研修として、例年どおりの県外企業見学実施に加え、平成28年度から2年生の校外研修の一部において、県内企業見学を実施

高岡法科大学の取組

- 1年生を対象としたリメディアル教育を開講
- 公務員志望者を対象とした前・後期、夏季・春季集中特別講座を開講
- 専門科目群において「地域」を意識した内容にして開講
- 地元企業と連携した、企業分析や経営戦略を学ぶと共に企業訪問を行うキャリア形成教育科目の実施
- 卒業後の地元定着の意欲を高め、地域の課題解決を主体的に考える「ローカルガバナンス」を開講

5 その他の取組

富山大学の取組

- 地域科目の設定と新規科目の開講
教養教育では、既存科目を地域志向科目（19科目）として設定するとともに、新たに「富山学」「地域ライフプラン」「産業観光学」を開講
専門教育では、既存科目を地域課題解決科目（47科目）、地域関連科目（63科目）に設定

富山県立大学の取組

- 1年次から3年次に必修の「キャリア形成論」の見直しを実施

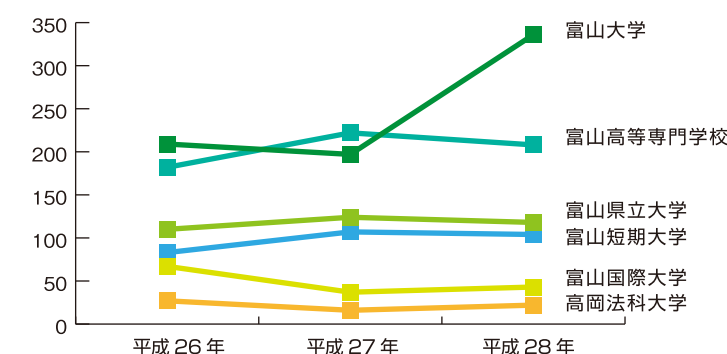
富山国際大学の取組

- 従来から設置している「地域づくり実習」「とやま地域学」に加え、「キャリアデザイン講座」「富山の福祉特別講義」を内容を新たにして開講

県内企業等へのインターンシップ参加者数(人)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
富山大学	209	200	336
富山県立大学	110	124	118
富山国際大学	67	37	43
富山短期大学	83	107	104
富山福祉短期大学	—	—	—
富山高等専門学校	182	222	208
高岡法科大学	27	16	22

※富山福祉短期大学では、カリキュラムの中に県内の医療機関や施設等での実習時間を多く設定し、現場で働くためのスキルを身に付けますので、インターンシップには参加していません。



出口戦略

あなたの未来は、
とやまの未来につながっています。

1 富山大学の取組

1 地域定着プログラムの実施

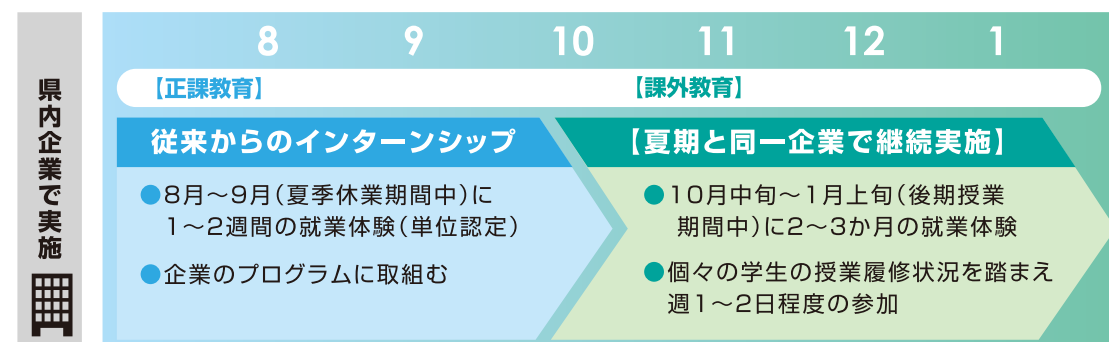


地域定着プログラムでは、県内産業の魅力等の情報を発信し、県内企業への就職・定住を促進する県内就職支援セミナーの実施、大学コンソーシアム富山が開催する合同企業訪問への学生の派遣、海外展開する県内企業等の魅力発見並びにグローバル人材の育成のための現地事業所訪問、正課の就業体験と課外の就業体験を併せた中・長期インターンシップの実施、富山県内で活躍する女性管理職等との情報交換による女子学生の地元定着支援などを行っています。

2 中・長期インターンシップの開発

地域定着プログラムのうち、夏季休業期間中に実施する正課の就業体験（1～2週間）と、後期授業期間中に実施する課外の就業体験（2～3か月）を併せたインターンシップ（同一企業）をキャリア形成のための中・長期インターンシップとして開発し実施しました。

初回の今年度は、4社のご協力を得て、6人の学生が中・長期インターンシップに参加し、1～2週間のインターンシップでは得られない「幅広い分野を体験」「より深い内容を体験」「気づきを次の回の実習で活用」など貴重な経験をすることができました。



2 富山県立大学の取組

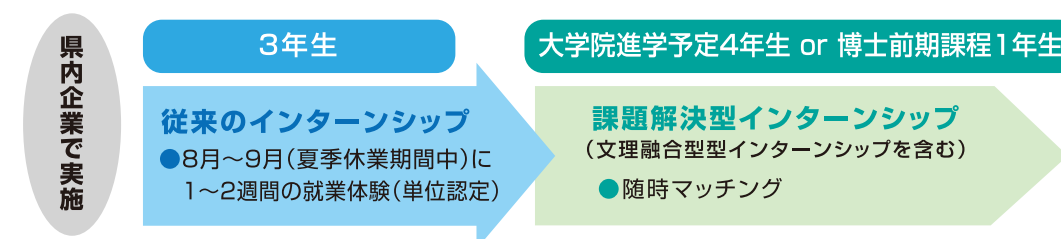
1 課題解決型インターンシップの実施

「とやま人材育成を考える会」を開催し、参加企業を核にして、課題解決型インターンシップを実施しています。このインターンシップにおいて、従来のインターンシップの目的に加え、次のようなことを目指すこととしています。

- 1.課題を見つけ、グループワーク力とともに自ら解決しようとする力を養う。
- 2.課題解決を目的とすることで、学生が達成感を持ち、当該企業に愛着を持つ。

このインターンシップを企業と協力の下、実施します。平成29年度2月に学内にて参加企業への説明会を実施し、実施時期の調整や学生とのマッチングを随時行うこととなりました。対象学生は、原則、大学院進学予定の4年生と博士前期課程1年生としています。

平成28年度は、県内企業4社において8名の学生が課題解決型インターンシップに参加しました。



3 富山国際大学の取組

1 文理融合型インターンシップ

富山県立大学の学生（理系大学院生）と本学学生（文系学部生）による、新たなインターンシップを試行しました。情報技術提供サービス企業からは、「新製品開発の需要調査とそれに基づく技術的提案」を趣旨とする課題が示され、トータル3か月間に、本学学生が市場調査及び需要予測を担当し、富山県立大学院生がその結果に基づく製品開発の提案を行うこととなりました。

それぞれの学生にとって異分野の学生との協働研究ということで、それまで経験したことのない刺激を受け、同時にその成果は、「文理融合」によって始めて得られるものとして結実するのではと期待しています。

2 保護者対象に県内就職率向上をめざした説明会

就職活動開始を直前にした3年次の学生の保護者を対象に、就職活動の流れや大学として支援する内容の説明に加え、地元シンクタンク研究員による「富山にあるキラリと光る企業」と題する記念講演を実施しました。

「大手」や「有名」企業に関心が向きがちな保護者に対し、広くは知られていなくとも、技術力や人材によって大きなシェアを得ている企業など、優良地元企業を紹介することで、意識改革へのきっかけを提供することができました。

説明会の後、学長、学部長など大学関係者が出席して、就職に関わる不安・心配などを始めとする様々な質問に応え、併せて忌憚のない懇談、意見交換を行いました。

4 県内高等教育機関が連携して実施した取組

1 新たなインターンシップ報告会の開催

今年度、富山大学では中・長期インターンシップを、富山県立大学では課題解決型インターンシップを、富山県立大学と富山国際大学では文理融合型インターンシップを、それぞれ新たなインターンシップとして開発し実施しました。

これら3つのインターンシップの成果を報告し、来年度以降の実施に向けた振り返りとするため、3大学で構成する「とやま人材育成を考える会」が、インターンシップ先企業を招いて「新たなインターンシップ報告会」を開催しました。

平成29年1月20日（金）に開催した報告会では、新たなインターンシップに参加した学生8名が、関係企業や関心のある企業の人事関係者等約50名を前に、インターンシップの成果を報告しました。

また、その成果を踏まえて、来年度からの新たなインターンシップの在り方について、企業関係者を交えて様々な角度から議論がなされました。



5 その他の取組

富山大学の取組

- 県内産業や企業の魅力を情報発信する、「県内就職支援セミナー」を開催
- 大学コンソーシアム富山が主催する合同企業訪問への参加を促進
- 「海外展開する県内企業等の魅力発見並びにグローバル人材の育成」事業を実施
- 県内で活躍する女性管理職等と情報交換を行う、「女子学生地元定着支援」事業を実施
- 県内中小企業を対象とした「合同企業説明会」を開催
- 県内中小企業を対象とした「個別企業説明会」を開催
- 外国人留学生と地元企業経営者等が相互理解を深めるための交流会を開催

富山県立大学の取組

- 県内就職アドバイザーを新規雇用
- 大学コンソーシアム富山が主催する合同企業訪問への参加を促進

富山国際大学の取組

- 大学コンソーシアム富山が主催する合同企業訪問への参加を促進

富山短期大学の取組

- 県内就職希望学生への就職支援
- 大学コンソーシアム富山が主催する合同企業訪問への参加を促進

富山福祉短期大学の取組

- 県内での実習先を就職先とする学生が多いため、多くの学生が県内で就職

富山高等専門学校の取組

- 富山高専技術振興会会員企業（県内企業を主とした約220社）と連携して「企業研究会」を開催
- 外部講師による「キャリア教育セミナー」を開催
- 地元企業との密接な連携による「教員による県内企業見学会」を定期的に開催
- 「女子学生を対象とした県内企業見学ツアー」への積極的な参加を促進
- 大学コンソーシアム富山が主催する合同企業訪問への参加を促進

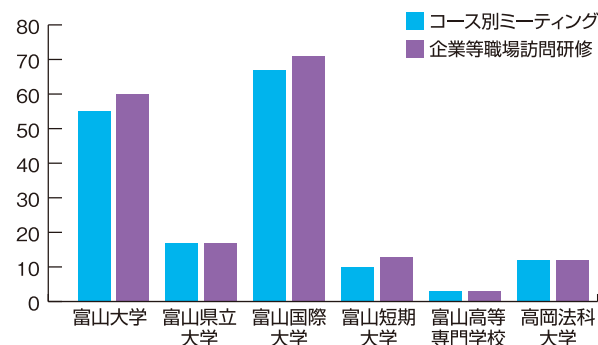
高岡法科大学の取組

- 企業から講師を招聘して富山の魅力を伝える「学内セミナー」を開催
- 大学コンソーシアム富山が主催する合同企業訪問への参加を促進
- 「合同企業説明会」を開催
- 「TOPセミナー」を開催

大学コンソーシアム富山の開催した合同企業訪問参加者数(人)

	コース別ミーティング	企業等職場訪問研修
富山大学	55	60
富山県立大学	17	17
富山国際大学	67	71
富山短期大学	10	13
富山福祉短期大学	—	—
富山高専専門学校	3	3
高岡法科大学	12	12

※富山福祉短期大学では、カリキュラムの中に県内の医療機関や施設等での実習時間を多く設定していますので、合同企業訪問には参加していません。



1 全体での取組

1 富山県進学パンフレット「僕らの情熱はあたらしい富山をつくる」の作成

「富山の魅力再発見!」をコンセプトに、大学コンソーシアム富山の広報委員会と連携して、中学生・高校生向けの進学パンフレットを作成しました。

大学コンソーシアム富山の広報委員会の下に県内学生が集って「学生による意見交換会」を2回開催し、その意見等を踏まえてパンフレットを構成しました。

主に県内高校生を中心に、県内中学生、隣接県の高校生もターゲットにパンフレットを配布し、デジタル版や関連動画も公開することで、スマホ世代の高校生に手軽に見てもらえるようにしました。



2 富山県内大学・短大・高専合同進学説明会の開催

富山県内の全ての高等教育機関が連携した初めての合同進学説明会を、10月22日(土)には高岡会場で、翌23日(日)には富山会場で開催しました。

説明会では「富山県内高等教育機関で学ぶことの意義、魅力」と題して、講演や大学紹介、富山大学の卒業生による県内企業就職体験談発表も行いました。

高岡会場には14組21人、富山会場には25組45人の参加者があり、熱心に説明に耳を傾けていました。



富山大学の取組

- 高校生を対象に、地域課題の解決に取り組む地域リーダーの魅力を伝える「キャリアデザイン講座」を開催
- 高校生や新入生に新設地域志向科目や ALL 富山 COC+ 事業を周知するための「新設科目紹介動画」を作成

富山県立大学の取組

- 高等学校訪問や各種媒体により、県内の高校生に対し積極的な学生募集活動を実施

富山国際大学の取組

- 地元からの入学者増を目指して、高校進路指導者訪問において、COC+プログラムを紹介し、地域社会のニーズに応える授業展開をアピール

富山短期大学の取組

- 県内高校訪問や県内高校生を対象とした各種説明会への参加、各種媒体を用いた広報等、県内受験生に向けた学生募集活動を実施

富山福祉短期大学の取組

- 効果的なタイミングを考えた年間目標に沿った県内高校訪問を実施
- 会場ガイダンスや高校ガイダンスへ積極的に参加

富山高専専門学校の取組

- 入学説明のための、1)県内全中学校への訪問、2)富山・高岡・新川・南砺の4地区で合同説明会、3)中学校校長はじめ進路指導担当教員による高専学内見学や意見交換会等を実施

高岡法科大学の取組

- 県内の高等学校を訪問し、進路担当者への大学説明、入試説明、オープンキャンパス等のイベント案内などを実施

今後の取組

1 全体での取組

○教育戦略

1. 地域志向科目等の開設「大学コンソーシアム富山」の単位互換制度活用による地域志向科目等の提供（富山大学、富山県立大学、富山国際大学）
2. 「大学コンソーシアム富山」の単位互換制度活用による地域志向科目履修の促進
3. 「未来の地域リーダー」育成に向けた検討・改善

○出口戦略

1. 富山県内企業等へのインターンシップ・実習等の参加促進
2. 「大学コンソーシアム富山」が主催する合同企業訪問への参加促進

○入口戦略

1. 富山県内大学・短大・高専 合同進学説明会の開催
2. 富山県進学パンフレットの発行

2 富山大学の取組

○運営

1. 地域連携戦略室の運営等
2. 地域創生連絡協議会及び教育プログラム開発委員会の運営
3. 地方公共団体及び企業等と協働した、事業協働推進委員会等の開催
4. シンポジウムの開催
5. 事業報告、自己点検評価及び中間報告の取りまとめ
6. 広報活動・情報発信の推進
webサイトの充実、リーフレット・パンフレットの作成、COC+NEWSの発行、COC+動画サイトの構築

○教育、出口、入口戦略

1. 「地域志向科目群、地域課題解決科目群、地域関連科目群」の実施・改善
2. 「未来の地域リーダー」エントリー制度創設に向けた検討
3. 「地域定着プログラム」の実施・改善
・県内就職支援セミナーの実施
・海外キャリア研修及び企業実務研修への学生派遣（中国、東南アジアへの学生派遣）
・中・長期インターンシップの継続実施
・女子学生の地元定着（富山型女性リーダー養成プログラムの実施）

○その他

1. 学生定着プラン作成
・在学者、卒業・修了者及び事業協働地域の地方公共団体・企業等へのアンケート調査の実施
・学生の科目履修状況、アンケート結果等の分析の実施
・卒業・修了者進路追跡実態調査を基にした、卒後3年の離職率の調査・分析の実施
・分析結果の教育プログラム開発委員会での検討
2. 企業・地方公共団体等との共同研究等の推進
3. 地方公共団体等との連携事業の推進等による地域連携の強化拡大
4. 地域と連携した地域人材育成事業の協働実施等による地域人材の育成

3 富山県立大学、富山国際大学の取組

1. 課題解決型インターンシップ、文理融合型インターンシップの継続実施

県の取組

とやまで働く。とやまで暮らす。
「オール富山」で積極的にサポートします。

○H29拡充 地方創生インターンシップ推進事業

- ・新たに「富山県インターンシップ推進センター」をとやま自遊館内に設置するほか、インターンシップ情報を掲載するウェブサイトを開設



○H29新規 富山女子限定!就職応援カフェ事業

- ・県内の女子学生限定の就職セミナーや座談会、就活メイク講座を開催

○H29拡充 富山のしごと・くらしアピール事業

- ・県外出身大学生とその保護者に、県内企業の魅力や富山県の住みやすさを動画等でアピール

○県内大学生県内定着促進事業

- ・本県企業で働く魅力を伝える学内セミナー（3年生対象）や教職員向けセミナーを開催



○多彩な合同企業説明会を開催

- ・県内最大規模の合同企業説明会「Uターンフェアインとやま」
- ・学生や若者を対象に、ヤングジョブとやまが、ほぼ毎月開催する合同企業説明会
- ・外国人留学生や日本人留学生を対象とした合同企業説明会



富山県知事
石井 隆一 氏



富山県では、若い世代の進学・就職時の県外転出が課題となっており、県内高校生の進学先や県内企業で活躍する人材の育成という面で、高等教育機関が果たす役割は今後ますます重要になるものと存じます。

こうしたなか、ALL富山COC+事業として、県内高等教育機関が企業等や地方公共団体と協働し、雇用創出や県内学生の地元定着による地方創生の取組を進められていることは、誠に意義深く、その成果に大きな期待を寄せています。

県としても、地方創生の推進のため、平成27年10月に策定した「とやま未来創生戦略」に基づき、人口減少を克服し、本県の自然、文化、産業など、各地域の特色・強みを活かした持続可能で活力ある未来の創造に向けて、全力で取り組んでいるところであり、今後とも、各高等教育機関や県内企業等との連携を更に推進し、地域で活躍する人材の育成や大学等を核とした県内産業の活性化、若者の県内定着の促進に努めてまいります。

メッセージ MESSAGE

一般社団法人 富山県機電工業会 会長
大谷 渡 氏



富山県は日本でも有数のものづくり県であることは周知のとおりですが、その特徴と強みとして、豊かな水資源を活用した安価な電力と豊富な工業用水による産業基盤の下、アルミや工作機械、電子部品、及び金型等の産業分野を中心に「技能を伴ったものづくり」として進化し続けてきたことが挙げられます。

また、大企業に加えて力のある中堅・中小規模企業が多く、各々の分野で日本や世界を代表する事例が多々あることから、富山県のものづくりは日本でもトップクラスのレベルにあると言えます。

地域と産業の発展に直結するCOC+への取組は、産学官の連携を通して学生の皆さんが富山県の特徴と強みを早い段階から理解し、将来に向けての目的意識を持っていただくことで、富山県の産業発展に向けて更に一段高いレベルでの人材輩出が期待できる、大変重要で意義のある取組であり、活動を地道に継続していくことが重要であると考えています。

関係の皆様におかれましては、ぜひとも積極的な参画を通して、富山県の産業発展へのご支援をお願い申し上げます。

シンポジウム・フォーラム

1 富山大学

1 環境シンポジウム『「環境都市・とやま」の未来を考える』の開催

平成28年11月18日に、富山大学黒田講堂において、「ALL富山COC+事業」の一環として、環境都市・とやまの現状やその将来を考える環境シンポジウムを開催しました。

県内高等教育機関、地方公共団体、経済界等の関係者、学生、地域住民等約200名の参加を得て、富山の先進技術や自然資本、コンパクトシティーの取組等を紹介しました。

また、パネルディスカッションでは、シンポジウムに先立って3回に渡って富山市民や県内企業関係者、県内大学生16名の参加によるワークショップにおいて作成された富山の未来のシナリオを基に、活発な議論が展開されました。



2 ALL富山COC+シンポジウム『「信頼の循環」で生み出す富山創生2017』の開催

平成29年3月27日(月)に、富山大学黒田講堂において、富山全域の連携による「ALL富山COC+事業」の取組の成果を確認しながら、そこから見えてきた課題を共有し、課題解決に向けて事業協働機関間の連携強化を図ることを目的に、シンポジウムを開催します。

平成29年3月27日(月)

14:00～17:00 シンポジウム 富山大学黒田講堂ホール

基調講演 第I部「事業実施状況報告」(富山大学、徳島大学、茨城大学)

第II部「COC+を一步先へ」(パネルディスカッション)

また、これに先立って13:00～14:00に黒田講堂会議室において、「学生によるCOC+地域連携研究ポスター発表会」を開催します。



2 富山県立大学

1 COC/COC+全国シンポジウム

本学がこれまで取り組んできたCOC事業の成果を全国に発信するとともに、COC及びCOC+の関係者が集まり、地域活性化と大学の役割について考え、相互の連携を深化する場とすることを目的として、9月26日(月)に富山国際会議場にて「COC/COC+全国シンポジウム」を開催しました。基調講演では、北九州市立大学地域創生学群長の眞鍋和博氏に「大学における地域連携・実践型教育の展開～北九州地域活性化の担い手としての学生発見～」と題してご講演いただきました。また、県立大学や富山国際大学等、全国6大学の学生代表による事例発表が行われました。分科会では、「地域の魅力向上」「持続可能な社会の実現」「高齢者等福祉の充実」の3テーマに分かれてパネルディスカッションを行い、それぞれの地域課題についての理解を深めました。ポスターセッションでは、全国各地でCOC事業に取り組んでいる15大学が出展し、関係者による活発な意見交換が行われました。



3 富山国際大学

1 富山国際大学地方創生フォーラムの開催

平成29年2月20日にTOYAMAキラリ富山において「平成28年度富山国際大学地方創生フォーラム—課題解決型人材育成と地域連携で実現する地方創生—」を開催し、「とやま地域創生人材育成プログラム」の成果を発表しました。

フォーラムでは、森雅志富山市長による基調講演に続き、COC事業の中核をなす「副専攻プログラム」と「能力特性評価テスト」の報告、学生の地域参加型活動事例紹介2件の報告を行い、最後に、自治体、経営者団体及び大学関係者を招いてのパネルディスカッション「大学における課題解決型人材育成の現状と今後」を行いました。

地方公共団体職員、企業関係者、地域住民、県内各高等教育機関教職員・学生等約160名が、4時間に渡るフォーラムに熱心に参加しました。



ALL 富山 COC+ の体制

富山大学

地域連携推進機構 地域連携戦略室

〒930-8555 富山市五福3190 学生支援・地域連携交流プラザ2F

TEL 076-445-6177・076-445-6519 FAX 076-445-6033 E-mail t-senryaku@adm.u-toyama.ac.jp

地域連携推進機構 地域連携戦略室長(副機構長) 金岡 省吾

COC+ 統括コーディネーター 尾山 誠

COC+ 連携推進コーディネーター 定村 誠

富山県立大学

教務課

〒939-0398 射水市黒河5180

TEL 0766-56-7500(内線231) FAX 0766-56-6182 E-mail kyoumu@pu-toyama.ac.jp

COC+:キャリアセンター 所長 中島 範行

COC+地域就職アドバイザー 野村 俊

COC:地域協働支援室 COC統括コーディネーター 奥田 實

富山国際大学

地(知)の拠点事業推進室

〒930-1292 富山市東黒牧65-1

TEL 076-483-8000 FAX 076-483-8008 E-mail coc@tuins.ac.jp

地(知)の拠点事業推進室長 長尾 治明

COC+連携推進コーディネーター 水間 英光

地域連携アドバイザー 殿村 幸子

富山短期大学

地域連携センター

〒930-0193 富山市願海寺水口444

TEL 076-436-5176 FAX 076-436-0133 E-mail coc@toyama-c.ac.jp

富山福祉短期大学

企画推進部 キャリア開発・支援課

〒939-0341 射水市三ヶ579

TEL 0766-55-5567 FAX 0766-55-5570 E-mail k-noto@te.urayama.ac.jp

富山高等専門学校

総務課企画室

〒939-8630 富山市本郷町13

TEL 076-493-5486 FAX 076-492-3859 E-mail kikaku7@nc-toyama.ac.jp

高岡法科大学

管理課

〒939-1193 高岡市戸出石代307-3

TEL 0766-63-3388 FAX 0766-63-6410 E-mail kanri@takaoka.ac.jp